

一 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

(1) 教員の養成の目標

東京国際大学は、「公德心を体した真の国際人の養成」を建学の精神とし、「大志(Vision)、勇気(Courage)、知性(Intelligence)の3資質を備えた人材の輩出」を教育目標に掲げて、1965年に単科大学として創学した。2023年度現在、本学は6学部10学科、4研究科からなる総合大学に発展し、「スポーツの東京国際大学」と「英語力の東京国際大学」を「教育の2本柱」に据えた教育事業展開を進めている。また、本学では、こうした「建学の精神」や「教育目標」に基づき、卒業時までには修得すべき資質・能力の基本方針を「ディプロマ・ポリシー」(DP)として明示している。

教職課程を有する各学部では、上記の「建学の精神」を教員養成教育に浸透させ、国内外に対する広い見識と展望を持ち、様々な専門分野の知識・技能や教員としての確かな力量を兼ね備えた人材養成に努めている。特に「教育目標」にある「3資質」は、いかなる教員免許状の取得を目指す道にも通じるものであり、教育者の基本的資質としても強く意識した教育実践を行っている。

「建学の精神」にある「公德心」とは、「グローバル社会における多様性や異文化の理解、他者への配慮、人間性の重視など人類の普遍的な価値観に立ち『公(おおやけ)』のために貢献する心」を意味し、おのずとその教育は、伝統的に社会に有益な実学の修得を重視している。そのため、教職課程における学びもその一つ(実学)と捉え、本学における教員養成の目標等は、教職課程を有する各学部が示すDPに内包する形で示している。

<https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/diploma/>

(2) 当該目標を達成するための計画

本学では、教職課程教育を行う上での全学的な組織として、英語科教員免許課程と保健体育科教員免許課程の全般を管理する教職支援センターを2018(平成30)年度に設置し、教職課程を有する各学部と密に連携・協働を図りながら運営面での組織化、円滑化を図っている。また、上記の目標を達成するための教員養成プログラムを以下のとおりに構築し、4年間を通して一貫した学生支援を実施している。

【教員養成プログラム】

	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
教職課程での学び	ステップ	教職の意義や使命感および基礎理論等を学ぶ		指導法の基礎等を学ぶ		教科・教職の専門性と実践力等を学ぶ	実践と応用	総まとめ	
		教科の基礎等を学ぶ							
	大学のキャリアラム(授業)	教職に関する科目・教科に関する科目の学習							
		教科の指導法に関する学習				教科の専門的な学習			
						教育実習			
						教職実践演習			
	全体指導(ガイダンス等)	新入生ガイダンス※1(教職)		教職ガイダンス※2(2年生対象)		教職ガイダンス※3(3年生対象)		教職ガイダンス※4(4年生対象)	
						介護等体験直前ガイダンス		教育実習直前ガイダンス	
	個別指導	「履修カルテ」に基づく個別指導							
	学外実習	スクール・インターンシップ							
教職支援センター	「教員採用試験」に向けた各種対策講座の実施(教職教養科目、専門教科科目、小論文、実技科目、集団面接、個人面接、などの指導)								

※1:主に、教職課程全般についての履修指導、教員になるための心構え等についての指導などを実施。

※2:主に、教科の指導法等についての指導、「介護等の体験」についての説明などを実施。

※3:主に、「介護等の体験」に向けての準備指導、「教育実習」についての説明などを実施。

※4:主に、「教育実習」に向けての準備指導、教員採用試験に向けた指導などを実施。